

事務事業名		農業支援活動推進事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	農政係
	施策	04	担い手の確保と経営安定化	内線電話	250
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	2目	農業総務費	平成30年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	新規就農を目指し、農業を体験したい者	農業の大変さ、やりがいを実感し、やる気のある新規就農者を増やす。	
	就農、田舎暮らし希望の「都会の若者」	地域おこし協力隊員を経験し、退任後の新規就農、移住定住を促進する。	
現状・課題	農業者の高齢化、後継者不足、遊休荒廃地の増加等が急速に進んでいる。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	農業の担い手の確保、移住定住人口の増加、中山間地の遊休荒廃農地解消などを図るため。	
事務事業概要	就農、田舎暮らし希望の「都会の若者」を対象に地域おこし協力隊員を募集し、隊員の様々な活動を通じて、将来的な新規就農・移住定住の促進を図るなど。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	地域おこし協力隊の委嘱		4人
	令和3年度採用の地域おこし協力隊の募集		2人

事務イン 事業プ ット	項目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円	12,427,000	16,244,000
補正・流用等		円			—
合計		円	12,427,000	16,244,000	14,685,000
決算（見込）額 A		円	11,172,260	16,244,000	—
財源内訳	国庫支出金	円			
	県支出金	円			
	市債	円			
	その他特定財源	円			
R2は予算額	一般財源	円	11,172,260	16,244,000	14,685,000
正規職員数		人	0.46	0.46	0.36
人件費 B		円	2,959,640	2,963,320	2,319,120
総事業費 A+B		円	14,131,900	19,207,320	17,004,120
市民1人当たりコスト		円	330	451	401

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
地域おこし協力隊員数		増加	目標	3人	4人	4人	4人	
			成果	3人	4人	—	—	
			目標					
			成果				—	
成果指標と目標値を設定した理由	就農、定住に結びつく活動を成果指標と目標値にした。							

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	地域おこし協力隊員の様々な活動を通じて、将来的な新規就農・移住定住の促進を図る。						

